

米倉教公の月間為替市場見通し

5月号

ドル/円予想レンジ 108.00 - 113.00 円

『過去22年間で3年連続陽線は過去にない！』

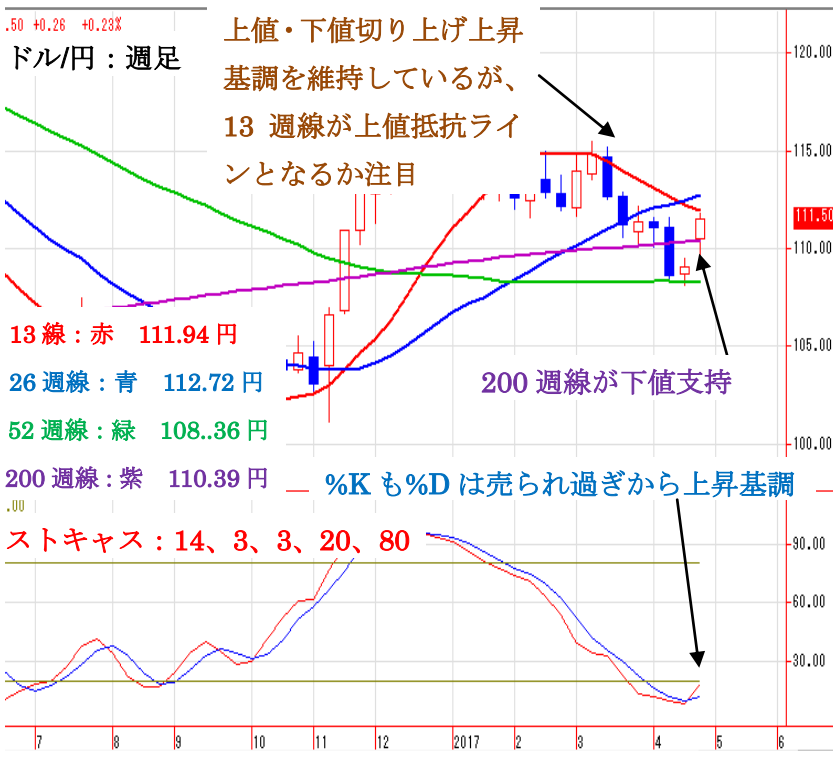
ドル/円の5月勝敗表

5月の相場	始値	終値	値幅	変動率	陽線・陰線
1995年	84.24	84.6	0.36	0.43%	陽線
1996年	105	108.04	3.04	2.90%	陽線
1997年	127.07	116.31	-10.76	-8.47%	陰線
1998年	132.7	138.75	6.05	4.56%	陽線
1999年	119.4	121.51	2.11	1.77%	陽線
2000年	107.86	107.62	-0.24	-0.22%	陰線
2001年	123.59	119.23	-4.36	-3.53%	陰線
2002年	128.49	124.09	-4.4	-3.42%	陰線
2003年	118.9	119.21	0.31	0.26%	陽線
2004年	110.38	109.43	-0.95	-0.86%	陰線
2005年	105.05	108.49	3.44	3.27%	陽線
2006年	113.66	112.56	-1.1	-0.97%	陰線
2007年	119.41	121.73	2.32	1.94%	陽線
2008年	103.86	105.53	1.67	1.61%	陽線
2009年	98.62	95.21	-3.41	-3.46%	陰線
2010年	93.84	91.29	-2.55	-2.72%	陰線
2011年	81.06	81.51	0.45	0.56%	陽線
2012年	79.8	78.32	-1.48	-1.85%	陰線
2013年	97.42	100.39	2.97	3.05%	陽線
2014年	102.22	101.74	-0.48	-0.47%	陰線
2015年	119.35	124.12	4.77	4.00%	陽線
2016年	106.22	110.72	4.5	4.24%	陽線
平均			0.10	0.12%	12勝10敗

★5月は政治リスクと地政学リスクに注意！

1995年以降の過去22年間のドル/円では、12勝10敗と始値から終値で陽線になることが多くなっている。一方、値幅での平均値は0.10円の円安となっている。また、15年は4.77円、16年は4.50円の円安となっていた。前月4月は一時108円台前半まで円高が進んだが、前週の円安進行を受けて辛うじて陽線引けとなった。5月は、1日から日本がGWに入りすることから、円高進行が警戒されている。また、仏大統領選挙、韓国大統領選、イラン大統領選と注目される選挙もある。また、トランプ大統領就任100日を超えたことで、目に見える成果が要求される時期に入ってきた。一方、北朝鮮による地政学リスクも再燃しており、例年になく緊張感の高まりには注意が必要となる。過去22年間で3年連続陽線は過去にない。

※この勝敗表は単純に終値から始値を引いた数値となっている。また陽線を勝ち、陰線が負けとした。



★ドル/円週足では13週線上抜けがポイント！

週足チャートでは、前週仏第1回選挙の結果を好感して窓を開け上昇した。その勢いそのままに上昇基調は維持されている。ただ、上値には13週線がレジスタンスラインとなるかが注目される。また、上抜けした場合は、26週線の112.72円がレジスタンスラインとなりやすい。一方下値では200週線の110.39円や52週線の108.36円がサポートラインとなりやすい。週足ストキャスティクス・スロー（パラメータ：14、3、3、20、80）は、%K：18.55、%D：12.06と売られ過ぎ域から%Kと%Dがかい離幅を広げながら上昇基調となっている。今年に入ってから13週線がレジスタンスラインとして、上値を抑えながら円高進行となってきた。そういう意味でも、今週13週線を確り上抜け出来るかが今後のドル/円市場動向のカギを握ることになる。

★まとめ

4月29日にトランプ大統領就任100日を迎え、今後はマスコミから政権の公約達成に関する批判的な記事が出始め風邪当たりが強まる可能性が高い。それを見聞きした国民の消費マインドは低下しやすく、今後の経済指標に表れてくると、FOMCによる年内残り2回の利上げの可能性が後退しやすい。また、オバマケアの改正案の遅延や、国境税の見送りなどから、財源不足による税制改革案の遅延や規模縮小などの懸念も出始めている。今月は仏大統領選、韓国大統領選、イラン大統領選など選挙月となっている。GW期間中は流動性が乏しくなり、変動幅が大きくなりやすいので注意が必要。

★5月の主な材料

- ・5月01日：米4月ISM製造業景況指数
- ・5月02日：RBA政策金利公表、中国4月財新製造業PMI
- ・5月03日：NZ第1四半期雇用統計、東京市場休場、ユーロ圏第1四半期GDP・速報、米4月ISM非製造業景況指数、米FOMC結果公表
- ・5月04日：東京市場休場、英国地方選挙、米3月貿易収支、アストロ＝水星の逆行終了
- ・5月05日：東京市場休場、米4月雇用統計
- ・5月07日：仏第2回大統領選挙、独シュレーレスヴッヒ＝ホルシュタイン州議会選挙
- ・5月09日：韓国大統領選挙
- ・5月10日：中国4月消費者・生産者物価指数
- ・5月11日：NZ中銀政策金利公表、日本3月国際収支、英MPC結果・議事録・四半期インフレ報告発表
- ・5月12日：日経平均オプションSQ、米4月小売売上高・消費者物価指数
- ・5月15日：NZ第1四半期小売売上高、中国4月小売売上高・鉱工業生産・固定資産投資
- ・5月16日：英4月消費者・生産者・小売物価指数、ユーロ圏第1四半期GDP・確報
- ・5月17日：英4月雇用統計
- ・5月18日：日本1－3月期GDP・1次速報、メキシコ中銀政策金利公表
- ・5月19日：イラン大統領選挙
- ・5月22日：日本4月貿易収支
- ・5月24日：加中銀政策金利公表、米FOMC議事録（5月2－3日分）
- ・5月25日：南ア中銀政策金利公表、OPEC総会、英第1四半期GDP・改定値、
- ・5月26日：G7首脳会議（27日まで）、米第1四半期GDP・改定値
- ・5月30日：中国4月製造業PMI
- ・5月31日：加第1四半期GDP、トランプ政権「予算教書」議会提出→議会審議

商号：株式会社フジトミ

金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第 1614 号

商品先物取引業者：農林水産省指令 28 食産第 3988 号,経済産業省 20161108 商第 10 号

加入協会：日本証券業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人金融先物取引業協会、

■くりっく 365 の売買手数料は 1 枚当たり最大でインターネットスタンダードコースが片道 0 円 (税込)、インターネットプレミアムコースが片道 648 円 (税込)、コンサルタント取引 (対面取引) コース及びコンサルタント取引 (対面取引) オンライン併用コースが片道 1,080 円 (税込) です。

■くりっく 365 における証拠金の額は、株式会社東京金融取引所が定める為替証拠金基準額で、原則週次で見直されます。その額は通貨ペアによって異なり、個人のお客様の場合最大で約 25 倍のお取引が可能です。

【くりっく 365－為替証拠金基準額の算出方法】

金融先物取引所が定める為替証拠金基準額は以下の計算式に基づき、算出致します。

計算式：為替証拠金基準額＝取引単位 (元本金額) ×4%× (5 取引日の為替清算価格平均値)

■「くりっく 365」には、以下のリスクがあります。

【価格変動リスク】

くりっく 365 は、取引する通貨の価格の変動に伴い差損が生じる場合があります、元本や収益が保証されるものではありません。建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生ずる場合があります。また、差入証拠金以上の損失が生ずる場合があります。

【レバレッジリスク】

くりっく 365 は、取引の額が預託された証拠金に比して大きくなるため、価格変動リスクその他のリスクがその比率に応じて増幅されます。レバレッジにより、その取引について必要となる証拠金の最大 25 倍までのお取引を行うことができます。

【信用リスク】

当社は、東京金融取引所を相手方とした「清算制度」に参加しており、お客様の証拠金は、全額取引所が区分管理しているため、原則として全て保全されています。しかし、当社の信用状況の変化等により支払いが滞ったり、破綻した場合には、返還手続きが完了するまでの間に時間がかかったり、その他不測の損失を被る可能性があります。

【システム障害リスク】

当社及び東京金融取引所のシステム、又はお客様、インターネット業者、東京金融取引所の間を結ぶ通信回線等に障害が発生した場合には、相場情報等の配信、発注・執行等が遅延したり、不可能になることがあり、その結果、不測の損失が発生する可能性があります。

【税制・法律等の変更リスク】

税制・法律又はその解釈等が将来変更され、実質的に不利益な影響を受ける可能性があります。

【金利変動リスク】

取引対象である通貨の金利が変動すること等により、保有するポジションのスワップポイントの受取額が減少、又は支払額が増加する可能性があります。ポジションを構成する2国間の金利水準が逆転した場合等には、それまでスワップポイントを受け取っていたポジションで支払いが発生する可能性もあります。また、一部の通貨においては、外国為替市場における当該通貨の需給関係等の影響を受けて、金利変動によらずにスワップポイントの増減や支払いの逆転が生じたり、場合によっては、金利の高い方の通貨の買いポジションでスワップポイントの支払いが生じる可能性があります。

【流動性リスク】

くりっく 365 で提示する為替レートには価格差（スプレッド）があります。くりっく 365 では、マーケットメイカーが買呼値及び売呼値を提示し、それに対してお客様が注文を発注して取引が成立する方式を取っています。状況（天変地異、戦争、政変あるいは為替相場の激変等）によって、マーケットメイカーによる買呼値や売呼値の安定的、連続的な提示が不可能または困難となることがあり、その結果、想定する価格で取引ができないなど、お客様にとって不測の損失が生じる可能性があります。また、一部の通貨において母国市場等の休業の場合には臨時に休場することがあります。更に、当該国の為替政策・規制による他通貨との交換停止や外国為替市場の閉鎖の措置がなされるなどの特殊な状況が生じた場合には、特定の通貨ペアの取引が不能となる可能性もあります。なお、平常時においても流動性の低い通貨の取引を行う場合には、希望する価格での取引ができないなどの不利益を被る可能性があります。

【コンバージョンリスク】

クロスカレンシー取引においては、決済が当該通貨ではなく円貨でなされることから、決済時に当該通貨の為替リスクの他に円との為替リスクがあります。

【ロスカットのリスク】

相場の変動により、有効比率が当社の定める基準以下となったことを当社が確認した場合、お客様の意思に関わらず、当社はおお客様の全ての未約定注文の取消及び全ての建玉の決済注文（ロスカット注文）の発注を行います。

ロスカットの場合でも、相場の急激な変動により損失の額が差し入れた証拠金の額を上回る可能性があります。

【情報リスク】

当社からご提供させていただく情報は、くりっく 365 の取引の参考としていただく資料です。その記載情報は、信頼性、正確性、完全性において保証されるものではありません。また、情報内容も予告なしに変更することもあります。

【その他】

取引所為替証拠金取引の売買は、クーリング・オフの対象とはなりません。取引所為替証拠金取引に関しましては、金融商品取引法第37条の6の規定の適用対象とはなりませんので、ご注意ください。

※くりっく 365 は、株式会社東京金融取引所の登録商標です。